

移動支援実証実験の課題整理

評価を得た事項	問題点として挙げられた事項・意見
・ 目的地 ・ 乗車場所の設定 ・ 降車可能区間の設定 ・ 運行間隔	・ 運行時間帯の設定（午前午後各 2 時間運行、昼間 2 時間休止） ・ 週 2 日の運行頻度・曜日設定 ・ 時刻表がなくわかりにくく不安 ・ 田無駅北口に直通していない ・ 田無庁舎乗車場が遠い ・ バスやタクシー等他の移動手段を利用 ・ 電動自転車利用者は使わない ・ 頻繁に利用すると高額に感じる ・ 現在は動けるので必要ない。 ・ 一般の方が使えるようにしてほしい。 ・ 知られていない。興味を持っていない人が多い。 ・ 地域に知れ渡るには時間がかかる



課題解決に向けた検討

目的地や乗車場所の設定に対する評価から、実証実験までに積み上げた地域需要の抽出には大きな問題はなかったと考えられる。また降車範囲という設定も市内の地域公共交通としては新たな試みであり、評価を得たことは今後の検討にも生かしていくものである。

【課題の解決に向けた検討】

- ① できるだけ曜日を限定せず長い時間の運行をめざす。
- ② 運行ルートを定める場合は 1 つのルートに限定する。
- ③ 住民利便性を考慮しながら発着地等を見直す。
- ④ 運送効率向上に向けて車両サイズを再検討する。
- ⑤ 利用対象者を限定しない。
- ⑥ 実証運行は地域住民の意識、行動変容も見込み長期間の運行内容を検証する。